

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【公開番号】特開 2006-172633 (P2006-172633A)

【公開日】平成 18 年 6 月 29 日 (2006.6.29)

【年通号数】公開・登録公報 2006-025

【出願番号】特願 2004-364979 (P2004-364979)

【国際特許分類】

G 1 1 B 27/34 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

G 1 1 B 27/10 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 27/34 P

G 1 1 B 20/10 E

G 1 1 B 20/10 3 2 1 Z

G 1 1 B 27/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 18 日 (2006.10.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録媒体に記録されているデータの中から再生するデータを選択するデータ選択手段と

、

前記選択されたデータを再生する再生手段と、

前記データ毎に再生履歴を記憶する履歴記憶手段と、

前記履歴記憶手段に記憶された再生履歴に基づいて、再生頻度の低いデータを前記再生手段で再生させる制御手段と、を備えることを特徴とするデータ再生装置。

【請求項 2】

記録媒体に記録されているデータの中から再生するデータを選択するデータ選択手段と

、

前記選択されたデータを再生する再生手段と、

前記データ毎に再生履歴を記憶する履歴記憶手段と、

前記履歴記憶手段に記憶された再生履歴に基づいて、再生頻度の低いデータを通知する通知手段と、

前記通知手段で通知した再生頻度の低いデータを前記再生手段で再生するか否かを選択可能な再生選択手段と、を備えることを特徴とするデータ再生装置。

【請求項 3】

前記再生頻度の低いデータを前記再生手段で再生するか否かを選択可能な再生選択手段と、を備えることを特徴とする請求項 1 または 2 記載のデータ再生装置。

【請求項 4】

前記再生頻度の低いデータの削除指示をするための削除指示手段と、

前記削除指示手段による削除指示に基づいて、前記再生頻度の低いデータを削除するデータ削除手段と、を備えることを特徴とする請求項 1 3 のいずれか 1 項に記載のデータ再生装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、再生頻度の低いデータの再生開始後、再生されたデータを削除するか否かをユーザに選択させることを特徴とする請求項 4 記載のデータ再生装置。

【請求項 6】

前記削除指示手段で削除指示がない場合には、対象となるデータの再生頻度を変更することを特徴とする請求項 4 又は 5 記載のデータ再生装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、記録媒体に記録されているデータの中から再生するデータを選択するデータ選択手段と、前記選択されたデータを再生する再生手段と、前記データ毎に再生履歴を記憶する履歴記憶手段と、前記履歴記憶手段に記憶された再生履歴に基づいて、再生頻度の低いデータを前記再生手段で再生させる制御手段と、を備えることを特徴とするものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また本発明は、記録媒体に記録されているデータの中から再生するデータを選択するデータ選択手段と、前記選択されたデータを再生する再生手段と、前記データ毎に再生履歴を記憶する履歴記憶手段と、前記履歴記憶手段に記憶された再生履歴に基づいて、再生頻度の低いデータを通知する通知手段と、前記通知手段で通知した再生頻度の低いデータを前記再生手段で再生するか否かを選択可能な再生選択手段と、を備えることを特徴とするものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また本発明は、前記再生頻度の低いデータを前記再生手段で再生するか否かを選択可能な再生選択手段と、を備えることを特徴とするものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また本発明は、前記再生頻度の低いデータの削除指示をするための削除指示手段と、前記削除指示手段による削除指示に基づいて、前記再生頻度の低いデータを削除するデータ削除手段と、を備えることを特徴とするものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また本発明は、前記制御手段は、再生頻度の低いデータの再生開始後、再生されたデータを削除するか否かをユーザに選択させることを特徴とするものである。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また本発明は、前記削除指示手段で削除指示がない場合には、対象となるデータの再生頻度を変更することを特徴とするものである。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明によれば、ユーザはほとんど再生されていない低再生頻度データが記録媒体に記録されていることを知ることができる。また、低再生頻度データが再生ので、ユーザは低再生頻度データがどのようなデータなのかを容易に知ることができる。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】